



## SAKAE MOTOR SPORTS 大島 良平 さん



### 黄・白・赤の公団カラーが サーキットで輝く

会社員として働きながら  
SAKAE MOTOR SPORTS の  
ドライバーとしてスーパー耐久シ  
リーズに出場している大島良平さ  
んにお話を伺いました。

#### レースとの出会い、初勝利への道

転勤族の家庭で育ち、各地を転々  
とした後、長い間札幌市で過ごし、  
30歳で当別町へ引っ越してきました。  
子どもの頃は、スキーに夢中  
で、大学生まで続けていましたが、  
自分の車を手に入れたことをきっ  
かけに、スキーよりも車への情熱  
が勝り、どんどんその魅力にのめ  
り込んでいきました。

元々は車好きとして年に1・2  
回サーキットを走る程度で、レー  
スとは全く無関係。そんな中、33  
歳のときに、十勝のサーキットで  
知り合った方に声をかけられたこ  
とがきっかけで、レースに出場す  
ることになりました。初めて出場  
したのは、「VITA」という車のみ  
で行われるワンメイクのレースで、  
車の性能差がほとんどないため、  
ドライバーの腕だけが勝負を決め  
るレースでした。実力がはっきり  
と評価されることや速い選手との  
差を分析し勝利に向けて努力する  
ことが楽しく、次第にレースに本

気で取り組むようになりました。  
参戦5年目に初勝利を挙げるこ  
とができたときはとても嬉しかった  
です。その後、2022年に岩見沢  
市の建設会社が立ち上げるレーシ  
ングチーム「D.R.C EZO（現・  
SAKAE MOTOR SPORTS）」か  
ら誘われ、新しい車を手にし、そ  
の年には北海道チャンピオンとな  
り、それまでの苦勞がついに実を  
結びました。その頃の走りの経験  
は今も役立っています。

#### S耐で「公団ちゃん」誕生

そして翌年、スーパー耐久(S耐)  
シリーズのST-5クラスに参戦す  
ることになりました。道路パトロー  
ルカーでお馴染みの黄・白・赤の  
公団カラーを施したフィットで出  
走していますが、富士スピードウェ  
イで行われた24時間耐久レース  
で「公団ちゃん」として話題となり、  
サーキットやSNSでたくさんの方  
々に応援いただけるようになりました。  
この公団カラーには、「建  
設業を盛り上げたい」という想い  
が込められています。会社に応援  
のメッセージが寄せられたり、関  
係のない道路パトロールカーの方  
が「公団ちゃん頑張れ」と小さい  
子から声をかけられたりと、業界

への関心の広がりを感じています。  
今後も建設業界の広報としても力  
を尽くしたいです。

#### さらなる挑戦へ！

「公団ちゃん」として人気が高ま  
り、結果に関係なく応援していた  
だけですが、競技者としては、  
やはり勝つ喜びを追い求めたいと  
思っています。今季のS耐ではク  
ラス4位という成績でしたが、来  
季はチャンピオンを目指し、メー  
カーのワークスチームとも争える  
実力をつけていきたいです。

また、以前は江別のレースシミュ  
レーターのお店で先生をしていたこ  
とがありました。レーサーに憧れ  
ている人を含め、さまざまな人と  
出会うことができ、とても楽しい  
経験でした。いつか当別でも同様  
の活動をしたいと考えています。

車好きの方々はぜひ、私のXと  
インスタグラムをフォローしてく  
ださい。一緒に車について語り合  
いましょう！

ここに書ききれないエピソードや写真は  
当別町ホームページ「現代を生きる+」  
でご覧ください。



X  
@BrunaRacing



Instagram  
@Bruna\_Racing